

2022年3月期 第1四半期 決算資料

決算のポイント

- 売上収益は、車両販売の回復により、前年比で増収。
営業利益は、操業度益や、体質変革による採算改善効果などにより、前年比で増益。
- 年間の業績予想は、見通しの難しい事業環境だが、第1四半期3か月の好調な業績を反映し、上方修正。
売上収益は5兆5,400億円(年初公表比+800億円)、営業利益は4,400億円(年初公表比+270億円)。
- 株主還元として、1,000億円もしくは1,200万株の少ない方を上限とした自己株式の取得を取締役会で決議。

1. 連結決算概要 (IFRS)

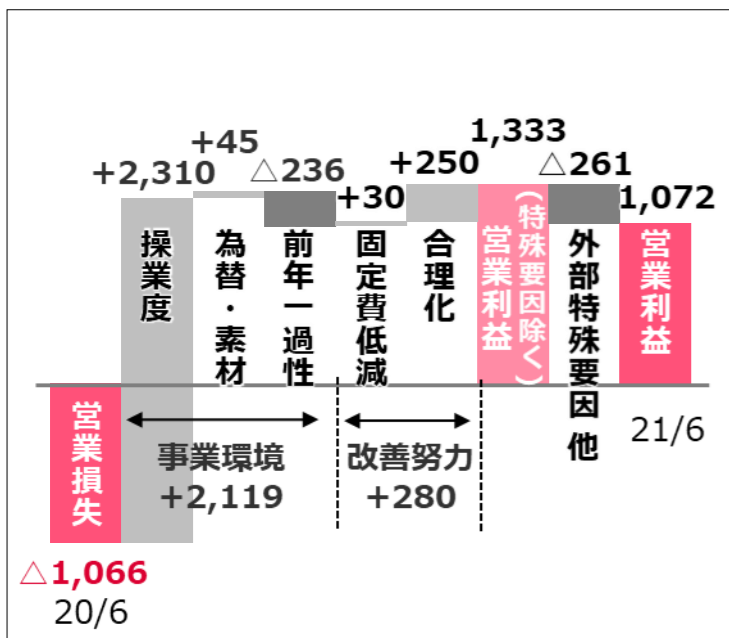
() 売上収益比 [単位: 億円]

科目	20/6期実績		21/6期実績		前年比		22/3期予想		前年比	
	金額	増減率	金額	増減率	増減額	増減率	金額	増減率	増減額	増減率
売上収益	7,651		13,569		+5,918	+77.3%	55,400		+6,033	+12.2%
営業利益	(-)	△1,066 (7.9%)	1,072		+2,138	-	4,400		+2,849	+183.7%
税引前利益	(-)	△922 (9.7%)	1,316		+2,238	-	4,810		+2,872	+148.3%
当期利益(※)	(-)	△901 (6.6%)	893		+1,794	-	3,360		+2,109	+168.7%
為替レート(US\$)	107.6円		109.5円		1.9円 円安	-	106.1円			
為替レート(ユーロ)	118.5円		132.0円		13.5円 円安	-	126.7円			
為替レート(中国元)	15.2円		17.0円		1.8円 円安	-	16.3円			
国内車両生産	130万台		189万台		+59万台	+45.9%	882万台			
海外日系車両生産	190万台		442万台		+252万台	+132.4%	1,960万台			

※親会社の所有者に帰属する当期利益

2. 営業利益増減要因 (20/6→21/6)

[単位: 億円]



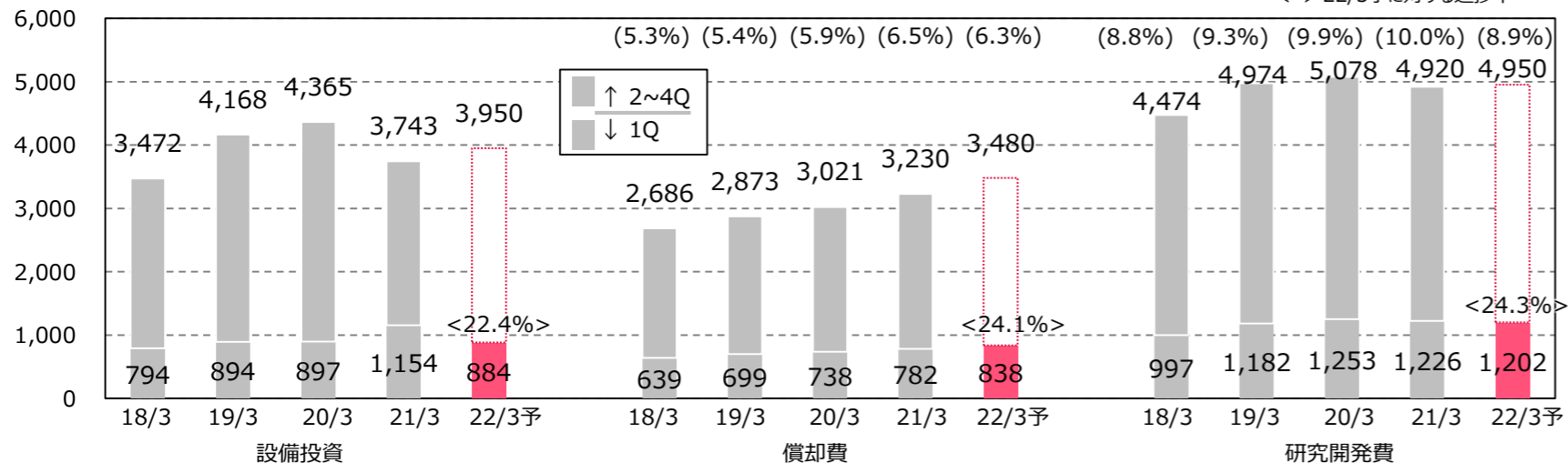
3. 所在地別セグメント情報

[単位: 億円]

セグメント	20/6期実績		21/6期実績		増減率	増減率 (現地通貨)	22/3予
	金額	利益率	金額	利益率			
売上収益	7,651	-	13,569	-	+77.3%	+71.5%	55,400
日本	5,283	-	8,734	-	+65.3%	+65.3%	36,470
北米	1,218	-	2,984	-	+145.0%	+137.6%	11,895
欧州	672	-	1,529	-	+127.6%	+106.9%	6,050
アジア	2,282	-	3,646	-	+59.8%	+48.1%	15,060
その他	29	-	170	-	+477.1%	+497.8%	605
消去	△1,834	-	△3,494	-	-	-	△14,680
連結	7,651	-	13,569	-	+77.3%	+71.5%	55,400
営業利益	△1,066	-	1,072	7.9%	-	-	4,400
日本	△908	-	582	6.7%	-	-	2,480
北米	△263	-	73	2.5%	-	-	300
欧州	△82	-	33	2.1%	-	-	165
アジア	35	1.5%	338	9.3%	+859.2%	+804.0%	1,325
その他	13	44.5%	32	18.9%	+144.9%	+151.6%	105
消去	139	-	14	-	-	-	25
連結	△1,066	-	1,072	7.9%	-	-	4,400

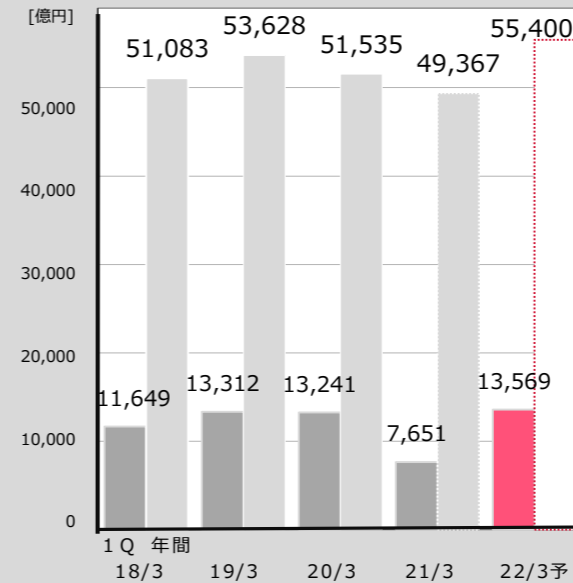
4. 設備投資・減価償却費・研究開発費の推移

() 売上収益比 [単位: 億円]
< > 22/3予に対する進捗率

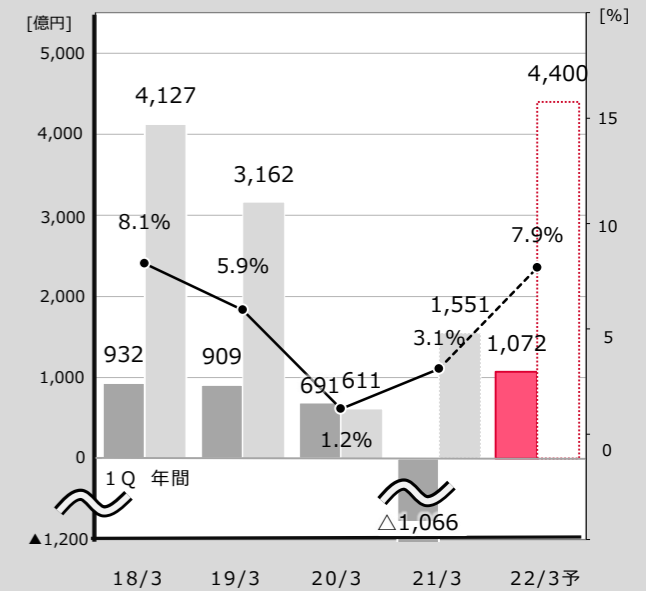


参考

① 売上収益の推移

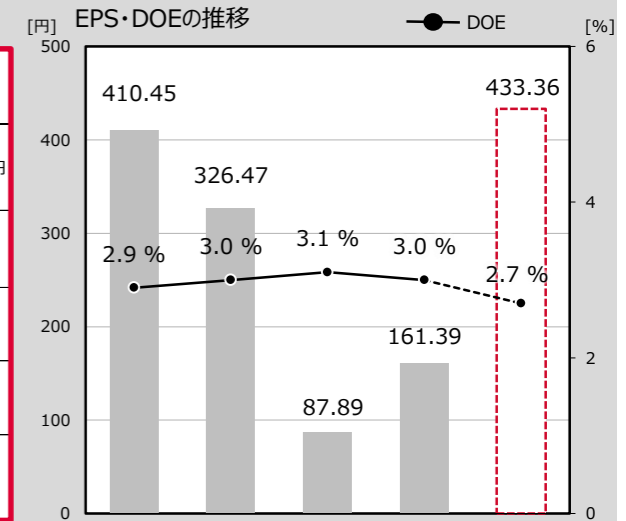


② 営業利益の推移



③ その他財務指標 (連結)

	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期 予想
一株当たり当期利益 (EPS)	410.45円	326.47円	87.89円	161.39円	433.36円
一株当たり配当金	130円	140円	140円	140円	140円
配当性向	31.7%	42.9%	159.3%	86.7%	32.3%
株主資本配当率 (DOE)	2.9%	3.0%	3.1%	3.0%	2.7%
自己資本当期利益率 (ROE)	9.3%	7.1%	1.9%	3.4%	8.3%



当社の目指す姿とSDGs

地球に、社会に、すべての人に、笑顔広がる未来を届けたい。

- 「環境」 2035年カーボンニュートラル実現**
モノづくり：工場のCO2排出をゼロに
モビリティ製品：電動化で、可能な限りCO2を削減
エネルギー回収・再利用：社会全体でCO2をマイナスに
- 「安心」 安全・快適・人の可能性を広げる価値を提供**
安全：交通事故のない自由な移動を実現
快適：心安らく快適な空間を創出
人の可能性：人を支援し、人の可能性を広げる社会を構築

「環境」と「安心」の価値を最大化し、
社会に「共感」いただける、新たな価値を創造し続ける。

企業活動全体を通じて主に貢献する目標

製品・サービスを通じて主に貢献する目標

